

日時 2012年8月3日(金)  
13:00~17:00

参加費  
無料

場所 神奈川大学 横浜キャンパス  
セレストホール(16号館)

## 開催趣旨

本協議会がこれまで開催してきた一連のキャリア教育シンポジウムをさらに発展させ、「中等教育と高等教育の接続について—その展望と課題—」のテーマのもと、3回シリーズでフォーラムを開催している。

第3回目にあたる今回は「初等～高等教育における教育の連続性」を開催テーマとして、「学ぶ意欲とスキルを育てる」を副題とする。ここでは、初等中等教育における新学習指導要領の全面実施にみられる《習得》《活用》《探究》の学習活動の捉え方、各学校段階相互の教育の連続性及び連携のあり方について、小学校から大学までの実践発表を行い協議する。

これを初等～高等教育関係者の研修および広く教育関係者、企業、保護者、地域社会等に対し一層の理解と協力を得ることを目的として開催する。

## プログラム

- 13:00～開始 開会挨拶 神奈川大学高大連携協議会 会長 中島三千男(神奈川大学長)
- 13:10～第1部 基調講演  
「いま求められる学力と学習指導—習得・活用・探究の授業創造—」  
講師：市川 伸一(いちかわ しんいち)氏  
東京大学大学院教育学研究科長 東京大学教育学部長  
文部科学省・中央教育審議会教育課程部会委員
- 14:10～14:20 休憩
- 14:20～第2部 実践発表Ⅰ  
「立命館における初等中等教育の一貫教育」  
講師：浮田 恭子(うきた きょうこ)氏  
立命館小学校長 元立命館一貫教育部長
- 実践発表Ⅱ  
「神奈川県連携型中高一貫教育」  
講師：近藤 順子(こんどう じゅんこ)氏  
神奈川県立愛川高等学校長
- 実践発表Ⅲ  
「高大接続教育からみたFYS(ファースト・イヤー・セミナー)」  
講師：齊藤 隆弘(さいとう たかひろ)氏  
神奈川大学学長補佐 工学部教授
- 15:50～16:00 休憩
- 16:00～第3部 パネルディスカッション  
モデレーター：下山田 伸一郎(しもやまだ しんいちろう)氏  
神奈川県立総合教育センター所長  
パネリスト：上記講師4名
- 16:55 閉会挨拶
- 17:00 終了

プログラム終了後、講演者、発表者、参加者による情報交換会を行います。  
情報交換会会費：1000円(情報交換会費は当日承ります)

- 総司会/神奈川大学高大連携協議会 副議長 稲本隆(神奈川県立大和東高等学校長)
- 第2部司会/神奈川大学高大連携協議会 副議長 三橋史朗(神奈川県立二宮高等学校長)
- 閉会挨拶/神奈川大学高大連携協議会 副議長 宮代哲彦(神奈川県立麻生高等学校長)

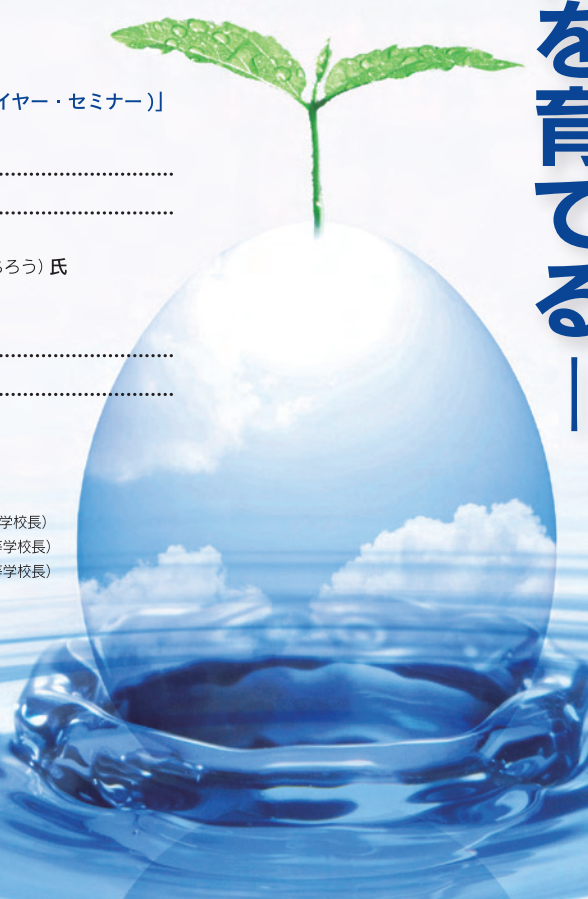
## 問合せ 神奈川大学高大連携協議会事務局

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1  
TEL. 045-481-5661(代) FAX. 045-481-2781  
E-mail koudai-jm@kanagawa-u.ac.jp  
http://www.kanagawa-u.ac.jp

## 主催 神奈川大学高大連携協議会

後援 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、横須賀市教育委員会、神奈川県立高等学校長会、横浜市立高等学校長会、川崎市立高等学校長会、神奈川県私立中学高等学校協会、神奈川県公立中学校長会、横浜市立中学校長会、神奈川県立高等学校 PTA 連合会、神奈川県私学保護者会連合会、財団法人日本進路指導協会、全国高等学校進路指導協議会

初等～高等教育における教育の連続性  
— 学ぶ意欲とスキルを育てる —



## 基調講演

# いま求められる学力と学習指導

## —習得・活用・探究の授業創造—



講師：市川 伸一氏  
(いちかわ しんいち)

詰め込み教育の時代、ゆとり教育の時代、そして、学力低下論争を経て、日本の初等・中等教育は、バランスと統合の時代にはいろいろとしている。中教審答申や学習指導要領の中で現われた、「習得—活用—探究」「教えて考えさせる指導」「教科横断的な言語力の育成」といったフレーズはその象徴ともいえる。教育心理学分野からこうした改革に関わってきた立場として、具体的な実践を提示しながらその趣旨を明らかにしたい。さらに、学校や社会と連携しながら、大学はどのようなスタンスをとっていくのかを考えていきたい。

いわゆる「ゆとり教育」と呼ばれる 1990 年代の教育改革の問題は、それまでの「詰め込み教育」への反動もあり、「指導より支援」「子ども中心」「問題解決学習」といった方向に極端に傾きすぎたことであろう。そこには、日本の子どもたちは非常によく勉強しており、基礎学力は十分高いという仮定があったように思う。だからこそ、「新しい学力観」「生きる力」など、それ以上のものを求めたのである。しかし、実態としては、学習意欲、基礎学力の落ち込みが進行しており、学力低下論者からも指摘されることとなる。

本来、教育改革が狙っていたのは、基礎学力はもとより、大学生、社会人になっても通じるような実践的な問題解決力やコミュニケーション力の育成であったはずである。これが、教育界の中では、振り子が振れるように極端から極端に走る教育論、教育政策になりがちであった。大学教育は、むしろ、講義や基礎演習による基礎的な知識・技能の習得、ゼミや卒論における探究を車の両輪とするカリキュラムをバランスよく実施してきた。これは、初等・中等教育にも一つのモデルとして提示できるものであり、そこに発達の軸を入れることで学校教育のめざす全体像が浮かび上がってくるのではないかとと思う。

### プロフィール

①現職 東京大学大学院教育学研究科長／教育学部長 教育心理学コース・教授 ②略歴 埼玉大学、東京工業大学を経て、東京大学現職 ③所属学会等 日本心理学会、日本教育心理学会、日本認知心理学会、等 ④主な著書論文「考えることの科学」(中公新書)、「学力低下論争」(ちくま新書)、「学ぶ意欲とスキルを育てる」(小学館)、「『教えて考えさせる授業』を創る」(図書文化)、ほか ⑤主な社会活動等 中央教育審議会教育課程部会委員、岡山県「学力・人間力育成推進会議」顧問など <http://www.u-tokyo.ac.jp/>

## パネルディスカッション モデレーター



モデレーター：  
下山田 伸一郎氏  
(しもやまだ しんいちろう)

学ぶ意欲や考えて表現する力、さらには社会の中で自立する力などを育成し、伸ばすことが学校教育に強く求められている。このことは、小学校から中学校、高校そして大学に至るまで共通する教育課題である。それぞれの発達の段階に応じた取組みには、共通するものもあるが、その段階独自のものもある。校種間接続の積極的な実践について学ぶことにより、各段階における教育活動の一層の充実につなげることができるのではないかと考える。

### プロフィール

①現職 神奈川県立総合教育センター所長 ②略歴 神奈川県立横浜桜陽高等学校長、神奈川県教育委員会高校教育課長・学校教育担当部長を経て現職 ④主な著書論文「<小・中学校>言語活動の充実を図る学習指導事例集」(共著)、「<高等学校>基礎・基本を定着させる授業づくりガイドブック」(共著)、ほか ⑤主な社会活動等 第5期中央教育審議会キャリア教育・職業教育特別部会作業部会専門委員、第4期中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会産業教育専門部会委員

<http://www.edu-ct.pref.kanagawa.jp/>

実践発表  
1

「立命館における初等中等教育の一貫教育」

講師：浮田 恭子（うきた きょうこ）氏  
立命館小学校長 元立命館一貫教育部長

学校法人立命館には2つの大学、4つの附属中高があり、そこに2006年度から立命館小学校が開校することによって、初等・中等・高等教育にわたる一貫教育の構想が可能となった。現在小学校から学んだ最高学年は9年生（中3）になっている。立命館は小中高の12年間を4年ごとのステージで区切り、児童生徒の発達段階や学び方に呼応した教育を展開する。開校7年目にチャレンジしようとしている方向性、6年間の営みを通して培ってきた確信と課題意識、小学校教育からの改革を通して、いかに既存の教育の枠組みを超え、グローバル人材の育成につなげようとしているかを語りたい。



〒603-8141 京都市北区小山西上総町22  
TEL. 075-496-7777・FAX. 075-496-7770  
校長（発表者）：浮田 恭子  
設置校：小学校  
児童数：718人（平成24年度）  
U R L : <http://www.rirumei.ac.jp/primary/>

実践発表  
2

「神奈川県連携型中高一貫教育」

講師：近藤 順子（こんどう じゅんこ）氏  
神奈川県立愛川高等学校長

昭和58年に開校した本校は、設立当初より地元との結びつきが強く、地域や愛川町立小中学校と様々な交流・連携が行われてきた。このような背景のもと、平成20年に愛川町立3中学校と本校の地域連携型中高一貫教育実施計画が打ち出され、平成21年度より連携諸教育活動、人事交流、入学選抜における連携募集が開始された。この連携型中高一貫教育は「地域の教育力の向上」をテーマに掲げている。また、地域の多彩な教育資源の活用や愛川町の伝統文化の継承などにも取り組み、主体的に地域社会に貢献する意欲をもった行動力あふれる人材の育成を目指している。



〒243-0308 神奈川県愛甲郡愛川町三増822-1  
TEL. 046-286-2871・FAX. 046-286-5494  
校長（発表者）：近藤 順子  
設置学科：普通科  
生徒数：658人（平成24年度）  
U R L : <http://www.aikawa-h.pen-kanagawa.ed.jp/>

実践発表  
3

「高大接続教育からみた  
FYS（ファースト・イヤー・セミナー）」

講師：齊藤 隆弘（さいとう たかひろ）氏  
神奈川大学学長補佐 工学部教授

大学教育は、学生の主体的学修を前提としています。しかし、大学ユニバーサルアクセス時代を迎え、入学時点で学生が主体的学修の習慣を身に付けていることが期待できなくなっています。大学での学びを開始するに当たって、“受動的学修”から“主体的学修”へと転換する契機を提供することが重要な課題となっており、そのため神奈川大学では、2006年度より全学共通の少人数クラス編成の初年次教育科目FYSを開講しています。当初、教員に戸惑いがあったものの、FD活動を通して授業改善がなされてきました。これまでのFYSの実践について報告すると共に、小学校から大学までの教育の流れの中で、高大接続教育が目指すべき目標について話題を提供します。



●横浜キャンパス  
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
TEL. 045-481-5661・FAX. 045-491-7915  
●湘南ひらつかキャンパス  
〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946  
TEL. 0463-59-4111・FAX. 0463-58-9688  
学 長：中島 三千男  
設置学科：法学部、経済学部、経営学部、  
外国語学部、人間科学部、理学部、  
工学部  
学 生 数：18,177人（平成24年度 学部学生数）  
U R L : <http://www.kanagawa-u.ac.jp/>